

夢は大きく意識は低く

パソコン1つで 生きてきた

—
あべむつき

目次

- 3. [はじめに](#)
- 7. [懲役40年](#)
- 11. [偽りの成功体験](#)
- 14. [カナダでの生活](#)
- 18. [出会い](#)
- 21. [南国大学](#)
- 29. [仮想通貨](#)
- 32. [YouTuber](#)
- 36. [ビジネスコンサル](#)
- 39. [シェアハウスの運営](#)
- 43. [次の舞台へ](#)
- 45. [さいごに](#)

A dark blue, moody photograph of a whale breaching the ocean surface. The whale's back and a large splash of water are visible. A large, semi-transparent white circle is centered over the image, framing the text.

はじめに

ごあいさつ

みなさんこんにちは、ラッキーメインあべです。

本書をお読みの方は、あべが提供する何らかの商品やサービスを利用しているということだと思います。いずれのケースであっても、あべに興味を持っていただき誠にありがとうございます。

YouTubeやTwitter、ブログなどで公開している通りの経歴になるので、少々聞いた話と思うかもしれませんが、僕は高校生の頃からネットビジネスを始めて、浪人時代を含めて実に10年以上ネットビジネスに携わってきました。

今取り組んでいるビジネスは、YouTuber、アフィリエイト、アプリビジネス、転売、FXなど様々です。ビジネスの経験を活かして、各地で個別コンサルやセミナー講師、ビジネスオンラインサロンなどの運営も行っています。

いわゆる副業として取り組まれることの多いこれらのビジネスですが、僕はこれらのビジネスを本業として、ネットビジネスだけで生活をしています。

最初から順風満帆だったとは言えませんが、それでも多分平均よりは上々で、大学1年生の終わりの頃には、学費も家賃を含めた生活費も全て自分でネットビジネスで稼いだお金だけで支払えるようにはなりました。ちなみに今は大学7年生で、いよいよ今年大学を自主退学します。

高級外車を乗り回したり高層タワーマンションに住んだりするような贅沢はしませんが、年に何回か海外旅行に行くくらいには不自由なく生活してきました。

決して自慢ではありませんが、興味がある人もいると思うので、おおよその僕の収入を言うと、大きな動きがある月で1000万円位。特に何も無い月で200万円位です。

億万長者とは言いませんが、僕の年齢や経歴を考えれば、かなり多い方だと思っているし自分でも満足しています。変な言い方になりますが、あべと同じくらい稼いでみたいと思う人も少なくは無いでしょう。

よく、「自分もあべさんと同じくらい稼げるようになりますか？」と聞かれることがあります、「あなた次第です」と答えるしかありません。

人にビジネスを教えるようになって分かったことですが、「楽しんで稼ごう」という思いが強い方は考えを改めましょう。そういう考えではきつとうまく行きません。

ネットビジネスで稼ぐのは確かに楽だと思います。実際僕が稼げてしまっているわけですから。ただ、会社員や実業で100万円稼ぐよりは楽というだけであって、ネットビジネスで100万稼ごうと思ったらそれなりには創意工夫が必要になってきます。

なので、稼げるかどうかは「あなた次第」ということです。

ただ、今僕はシェアハウスの運営もしていて、住んでいる人たちにはビジネスの指導もしていますが、シェアハウスのメンバーは全員ネットビジネスでお金が稼げています。

シェアハウスのメンバーは独立した人たちを含めても全部で10人足らずですが、月に100万円以上稼いだ人が3人。かなり不器用で最初全然稼げなかった人でも10万円は稼げています。

本書で触れるプーケットの南国大学では、20名以上の参加者が居ましたが、全員が6ヶ月以内に100万円稼げるようになっていました。ちなみに僕を含めそのうち最低3名は今でも100万円以上の売上を稼いでいます。

例えば、今僕が収入の土台や人脈など全てを無くしてゼロからスタートするとしても今と同じビジネスをやり直します。

確実性、再現性、収益性などビジネスには色々な要素がありますが、ネットビジネス以上に期待できるビジネスは他にはないと僕は確信しています。

さて、前置きが長くなりましたが、実は本書では具体的なビジネスノウハウや手法についてはあまり触れていません。

僕がネットビジネスに触れてきたこの10年間を振り返って、感じたことや経験したことにフォーカスした内容になっています。失敗談や普段YouTubeなどでは触れられないような部分を中心ですね。

失敗は成功の母とも言いますが、失敗したことから学ぶことの方が多いと思っています。ただ、失敗にはリスクも付きものですよね。

僕の失敗談から学べば、あなたは不必要に失敗する必要もありません。

また、歴史は繰り返すものですから、僕の過去の経験が今後役に立つこともあるはずです。

これからあなたがネットビジネスに取り組むにあたって、つまりくことやうまく行かないこともきっとあると思います。

そんな時に、本書の内容を思い出して「ああ、あべも大変だったんだから自分ももう少し頑張ろう」なんていう風にモチベーションに繋げてくれたらそれも幸いだと思います。

最後に、本書の制作及び様々な機会を提供してくれた上田幸司氏に感謝の意を表します。

2021年某日 安部 夢都生（あべむつき）

A black and white photograph showing a person's feet from the ankles down, standing on a dark, textured surface that appears to be sand or gravel. The person is wearing white socks. Heavy, dark metal handcuffs are attached to both ankles. The handcuffs are connected by a chain that loops across the ground. A semi-transparent circular overlay is centered over the feet, and the text "懲役 40 年" is written in white across it.

懲役 40 年

人生という監獄

学生時代、誰しものが将来について考える時期があったと思います。僕にもありました。周りが進学や就職などを考え出す高校生の頃です。

僕の場合は、神奈川県偏差値ランキングで下から100番目でしたから、就職という選択肢が濃厚な状態でした。そんな時にふと将来のことを考えたんですよ。

このまま就職するとなるとその後の人生は40年以上、決して高くはない給料で毎日働き詰め。週末の休みは体を休めるためだけにつかうという、そんな生活が頭に浮かびました。

本当に子供の頃は、何となく大人になれば会社に勤めて適度な残業をこなしながら、家庭を持ったりマイホームを持ったりするのかなと思っていましたが、そんな理想的な生活は全く浮かびませんでした。

ネットも普及して、平均的な会社員の給料がどれくらいかもわかっています。不景気やリストラなんていう不幸な話題も、日頃からニュースで目にしていたから将来には不安しかな

い、そんな状態で「人生という監獄に懲役40年の刑」を宣告されたようなそんな絶望を抱いたのを覚えています。

囚人のような人生に、前向きになれるわけもなく、何か逃げ道は無いかと考えて色々模索した結果、選んだのがネットビジネスという道でした。

最初はブログアフィリエイトが始まりです。お金もかからないし気軽に出来るし、これで稼げるなら越したことはありませんが、まあ結果は散々でした。

全く稼げなかったわけではないですが、時給換算すれば10円前後だったでしょう。コンビニのアルバイトどころか、親の買い物を手伝ってお駄賃をもらったほうが遥かにマシでした。

よくある話でしょうから、もしかしたらあなたにも近い経験があるかもしれませんね。

囚人以下の収入

お金を稼ぐ以上、それはビジネスということです。無計画に取り組んでいれば稼げるわけありません。何のノウハウも無く、戦略もないただの高校生の僕が稼げるほど甘い世界ではありませんでした。

もっと早く気付けばよかったですが、本来受験勉強に捧げるべきだった丸々1年を使っても僕はまだそのことに気付いていませんでした。

さらに酷いことに、元々神奈川県での偏差値ランキングがワースト100位ですから、勉強もせずにブログばかり更新していた僕が大学に合格するわけありません。

その年の4月から、僕の浪人生活が始まります。

浪人中も、僕の生活スタイルはほとんど変わりません。1年も先の受験に備えて受験勉強をするわけもなく、ずっとネットビジネスと気晴らしにテレビゲームをするような毎日が続きます。

通学することがないので、朝と言えるような時間に起きませんから、高校時代より更に悪い生活になっていましたね。

ブログから発生する微々たるアフィリエイト報酬が、何ヶ月かに一度最低報酬額に達します。その数千円の振り込みに喜んでいました。

そんなこんなで、その年の秋も過ぎる頃に、ようやく僕も危機感を感じ始めます。

ふと振り返って見てみると、高校時代から遡って2年弱で得た収入の合計が5万円程だったんですね。多めに見積もっても、月に3000円ほどの収入です。

刑務所の作業報酬の平均が月給5000円。高い等級の仕事に付いていると、月給2万円以上稼げるそうです。

懲役40年の刑から逃れるために始めたはずのネットビジネスでしたが、当時の僕は刑務所の囚人よりも稼げていない状態でした。

さらに言うなら刑務所内は、税金も医療費も家賃も食費も無料です。

これに気付いた時には、流石に後悔を感じましたね。貴重な青春時代の2年間を、囚人以下の待遇で過ごしてきたわけですから。

受験勉強もほとんどしていませんから、進学も難しいでしょう。ここからさらにもう一年浪人するのにも抵抗はありましたから、就職が濃厚なわけです。

2年間囚人以下の生活をして、結局懲役40年の人生になると思うと、絶望しか感じませんでしたね。

本当に途方に暮れていましたが、偶然見つけた某大学のAO入試制度の要項を読んで、ダメ元で受験したら合格したので幸運にも大学には進学することができました。

大学の名誉に関わるのでここでは大学名は言いません（笑）

もしここで就職することになっていたら、本書で述べるこれ以降の出来事に会えなかったので、ここで進学できたというのは、本当に不幸中の幸いでしたね。

僕のネットビジネスのスタート地点はこんな感じでした。多分よくある話ですよ。似たような経験があるという人も多いのではないのでしょうか。

■次の質問の答えとして、正しいものを選んでください。

■【問い】受刑者が刑務所内で行う刑務作業の対価として受け取る「作業報奨金」は1人1カ月あたり平均でいくら？

☐ 約4700円

☐ 約9800円

☐ 約2万800円

■【答え】約4700円

ネットで見つけた受刑者の給料（報奨金）に関するクイズ問題。
選択肢の一番安い金額よりも僕の収入は少ないことになります。

A photograph of a camel lying down on a sandy surface. The camel's head is in the foreground, resting on the sand. A semi-transparent circular overlay is centered over the camel's head and neck. The Japanese text "偽りの達成感" is written in white across the center of this circle.

偽りの達成感

新生活の始まり

一浪して奇跡的に大学に入学できた僕は、依然としてネットビジネスで稼ぐという夢を捨てきれずにいました。通学の間や家に帰ってからもずっとネットで情報を検索したりメルマガを読み漁るような毎日でした。

当時の情報商材はどれも今よりもかなり高価で、大学生の僕が気軽に变えるものではありませんでしたから、無料で手に入るノウハウで四苦八苦していたのをよく覚えています。

それっぽい情報を手に入れては、ちょっと実践してやっばりうまく行かずに次の情報へ…。の繰り返しでしたね。

結局無料で学べる内容には限界があるということを悟り、半ば諦めの気持ちで、思い切って有料のビジネス塾に参加することを考えるようになりました。

「どうせお金を払うなら稼げそうで面白そうでやりがいのあるものがあるだろう」という考えのもと、僕は以前から気になっていたアプリビジネスのスクールに入会しました。

決して安くはない金額でしたが、奨学金が一部残っていたし分割などを利用してギリギリ参加することができました。

ここですぐに稼げれば理想的な流れだったのですが、そう上手くは行きませんでした。

当時まだ僕は20歳。分割とは言え、人生最高額の買い物を終えた僕はそこで燃え尽きて満足してしまったんですね。

思い切って高い買い物をしたという達成感から、まだ何もししていないのに、自分はもう大丈夫だという意味不明な勘違いをしていました。

高いお金を払って入会したのに、何ヶ月もの間僕は何もしませんでした。何十万円ものお金を払って、得たものは偽りの達成感だけという悲惨な状態です。

この「偽りの達成感」は、経験が無い方には理解できないかもしれません。

でも、実はこれ科学的な根拠もある「脳の勘違い」が引き起こす現象で、意外と多くの方が体験しているんですよね。

人間の脳は一定の刺激を求めています。停滞感とか、マンネリという言葉がありますが、何も変化がない、何の刺激もない期間が続くと人間はストレスを感じるようになっていきます。

そのストレスから開放されるために、刺激や変化を要求するシグナルが脳から発信されるわけですね。

お金がない人ほどギャンブルにはまるのも、これが原因だと言われています。

お金がないので日々の生活が退屈になり、刺激を求めてパチンコに行き、負けるからまたお金がなくなって、今度は借金をしてパチンコへ行く。

勝てば結果オーライですが、負けても刺激は得られますから、脳は満足して偽りの達成感を得てしまうのです。

僕はギャンブルはあまりやりませんが、何となく気持ちは理解できます。

勉強ばかりだった浪人生活、高校から遡れば何年間も結果が出せなかったネットビジネス。

気付かないうちに、僕の脳は強い変化と刺激を求めているのかもしれない。

奨学金を注ぎ込んで、借金までして高額塾に入会しましたから、僕の脳はかなりの達成感を得たんでしょうね。若くして億万長者になったような、そんな有頂天な気持ちになっていました。

偽りの達成感に酔いしれた僕は、大学での新生活も何となくいい気分で過ごしていました。借金まみれの貧乏学生のくせに、数カ月後にはカナダへの留学も決めていました。

兎にも角にも、大きな散財をしたことは頭の隅に置きっぱなしでした。数ヶ月もの間ビジネスは一步も進展すること無く、僕はカナダに留学することになります。

カナダでの生活



初めての成功体験

カナダに来て最初に感じたことは、とても寒いということ。僕が滞在していたのはマニトバ州というところで、夏場でも氷点下になるような北米でも最も寒い都市でした。

本来はしっかりと寒さ対策をしてから臨むべきでしたが、スクールの入会金で散財もしているし、普段着と普通のスニーカーでカナダに来てしまったんですよね。

周りのみんなは毛皮が付いているブーツのような本格的な防寒具を持っているので、適度に遊んだりしていましたが、僕は普通のスニーカーしか持っていないですから、ずっと家にいました。

仮に寒さを凌いだとしても、遊ぶためのお金もない状態です。

留学ビザですから現地で働くことはできません。そもそも英語も喋れないですから、働くのは無理ですよね。

遊ぶお金も、ブーツを買うお金もないので、ずっと宿舎で日本のアニメばかり見ていました。

その時僕がハマっていたアニメが「おそ松さん」というアニメです。

おそ松さんは、原作は赤塚不二夫のおそ松くんで、原作では少年だった六つ子の兄弟が、大人になったストーリーを描くギャグマンガです。アニメランキングサイトなどでも高評価で、様々なグッズも発売されていました。

娯楽はおそ松さんしかないので、本当にずっと見ていましたね。

その時ふと高い入会金を払って参加したアプリビジネスのスクールのことを思い出しました。

「こんなに人気なら、アプリにしたら稼げるんじゃないか」と思い、ずっと放置していたアプリスクールのマニュアルを改めて読み返しました。

マニュアルを読んで、提供されているツールをほとんど初めて触ってみて、アプリ自体はすぐに完成しました。スクールに入会して数ヶ月全く何もしていない僕でしたが、2日もかからずにアプリを作ることができました。

さすがの僕も「こんなに簡単ならもっと早くやるべきだった」と反省しました。

半ば気まぐれに作ったこのアプリですが、予想以上にダウンロードされて留学期間中だけでも30万円程の広告収入を稼ぐことができました。ブーツだけでなくコートを買ってもお釣りが来るほどの金額です。

寒さも凌げて、遊ぶお金も手に入りました。ようやく人並みの留學生活が送れることも嬉しかったですし、それ以上に、初めて大金を稼げたということに、心の底から喜んだのを覚えています。

金額自体は30万円ですから、人生が変わるような大金ということではありません。それまでにネットビジネスに費やしてきた労力と期間を考えれば、全然割りに合っていない金額でしょう。

でも僕はこの30万円に金額以上の価値を感じていました。



当時作成したおそ松アプリ

GPM	収益金額(税引前)	レポート	日	CTR	GPM	収益金額(税引後)
	¥116,323		2			¥56,290
7.2	¥26,795	レポート	7	11.66%	506.8	¥53,637
17.3	¥25,698	レポート	3	2.23%	110.3	¥1,101
6.3	¥20,063	レポート	9	0.14%	11.5	¥652
4.6	¥17,474	レポート	3	0.47%	64.4	¥451
			3	0.07%	4.0	¥236

昔のキャプチャなので見えづらいですが当時の報酬画像
(複数の売上画面を掲載)

そして、この出来事をきっかけに僕の生活は少しずつ変化していきます。

アプリで稼ぐことに味をしめた僕は、その日からしばらく、ほとんど毎日アプリを作るようになりました。もちろん全てのアプリが何十万円も稼げることもなく、10個作って1つヒットすればいい方でしたが、駄目なアプリでも月に数百円位の収入にはなったりするんですよね。

毎月の収入になりますから、長い目で見ればそれなりの金額になります。ちなみに、この時作ったアプリからの広告収入は6年以上経った今でもまだ続いています。

もしかしたら、最初に作ったアプリがおそ松さんじゃなかったら、ここまでのモチベーションは保てなかったかもしれません。

最初に作ったアプリが数百円の利益にしかなくなっていなかったら、途中でアプリビジネスを放棄していたかもしれない。そう思うと、ぞっとしますね。

金額で言えば30万円という小さな成功体験ですが、この体験が無ければ今ほどネットビジネスに情熱を捧げなかったで

しょうし、他のビジネスをしたとしてもうまく結果は出せなかったと思います。

今僕の周りには、色んなビジネスをしている人がいますが、誰もが大人なり小なり成功体験を経験しています。

どんなビジネスでも、いきなり盲信的に全力投球で取り組みと言われても難しいですよ。

後に大きな成功を収めるためにまずは小さな成功を積み重ねる。これはネットビジネスで大きく成功するための1つのパターンだと思います。

これからビジネスを始めようと思っている方、決して大きくなくても構いません、小さなことでもいいのでまずは何か実感できる成功を見つけてみて下さい！

出会い



初めての勉強会

留学から帰ってきて、しばらくした頃アプリスクールで定期開催されている勉強会の案内が届きました。

アプリのおかげで充実した留学生活が送れたというお礼も言いたかったし、アプリで何百万円も稼いでいる人が居るというのは聞いていたので、その人達にも会いたいと思っていました。

カナダのお土産を持って、東京の勉強会会場に行くことにしました。

30席ほどの会場はほぼ満席で、常連のメンバーの方たちが和気あいあいとビジネストークで盛り上がっていました。この日、僕は初めて上田さんと出会うことになります。

上田さんは僕より一回り上ですが、初めて話す僕にも気さくに対応してくれました。僕がカナダでアプリで稼いだことを伝えと、他のメンバーに紹介もしてくれて、僕はすぐに周りの人たちと馴染むことが出来ました。

それまで一人で独学でネットビジネスに取り組んで来たので、先輩達との意見交換も参考になったし、僕以外にネットビジネスに取り組んでいる人を実際に見たのも初めてでしたから、話をしているだけでも充実した時間を過ごすことができました。

何人かの人と連絡先を交換したりして、その日は解散となりました。

貴重で充実した時間を過ごせたので、翌月の勉強会が待ち遠しかったのを覚えています。

それから数日して、僕のケータイに上田さんから着信がありました。もしかしたら勉強会の翌日だったかもしれません。

今ではちょっとした用事で電話で話すような関係ですが、当時は出会ったばかりでしたし、一瞬間違い電話かと思ったほど突然の連絡でした。

電話の内容は、「プーケットでネットビジネスだけで生活してみないか？」という内容でした。

あまりにも突拍子の無い話でしたが、面白すぎると思って「行きます」と即答しました。

その後、上田さんのところに出向き、詳しい話を伺って僕の人生を大きく変える南国大学の話を初めて耳にしました。これを読んでいるあなたなら、もしかしたら知っている方もいるかもしれませんね。

上田さんが電話で話した言葉通り、「タイのプーケット島で、ネットビジネスだけでお金を稼いで生活する」という企画です。

メンバーは最低でも10人くらいは集めたいけど、前例の無い企画なので、最初からネットビジネスの収入がある僕にまず話が振られたということでした。

「前例が無いので、何が起きるかわからないけど、問題があれば最大限対処する。でも、本当に万が一の場合、特に保証とかは無い」とかそういう内容だったと思います。

詳しい話を聞いた上でも、僕の返事はYESでした。

いくら僕でも、普通だったら会って2回目の人に「プーケットで生活してみない？」と言われても絶対に断ります。

その場の空気に乗せられたというのもあったかもしれませんが、それだけが理由なら家に帰って冷静になったあとで、お詫びして断りの連絡を入れます。

決め手となったのは、上田さんの言う通りにアプリに取り組んだら稼げたということ。そして、僕と同じようにアプリで稼いだ人が勉強会に大勢参加していたのを目の当たりにしたからです。

あれだけ多くの人を稼がせた人が、このタイミングでいきなり嘘付くようなこともないだろうという判断がありました。

もちろん多少の不安はありましたが、人生を左右する大きな英断をすることができました。

ただ、少し焦ったのは、出発が何と2週間後。翌日直ぐに休学のやり方を調べて大学に休学届を提出していましたね。

これが上田さんと会って2回目の出来事です。



南国大学

プーケットでの生活

プーケット行きを決めてから旅立ちまでの2週間、周りの人には、人身売買みたいなとんでもない詐欺じゃないのか？なんて言われて止められたりもしていました。

上田さんからは、住居は11LDKで全個室にトイレとシャワー完備、中庭にはプライベートプールがあるし自家用車も手配したなんて言われて、僕自身も流石にそれは話を盛りすぎだろうとも思っていましたね。

そして、その後師匠とも呼ぶようになった上田さんとの出会いからたった2週間ほどで僕はプーケット出発したわけですが、実際に指定の場所に付いてみると、事前の話通り中庭にはプールがあるし、自家用車も手配されていました。

さらに言えば、家の裏に25メートルの共用プールも付いていましたね。事前の話以上の環境でした。



リゾート施設のような場所でした。

ちょうどタイの国王が亡くなって、国中が喪に服しているような期間だったので街は閑散としていましたが、それでも南国大学のメンバーが1人2人と増えていくに連れて街も活気に溢れてきたのを覚えています。

当初は上田さんもすぐにプーケットに来る予定でしたが、他の参加者の面接などが立て続けに入ったということで、初めて上田さんがプーケットに来たのは僕が来てから2ヶ月後。

それまでの間は、自分なりに工夫してビジネスに着手して、新しいメンバーが来たらなんとか手探りで指導をしたり、庭に生えている椰子の実をもぎってココナッツジュースを飲んだりして過ごしていましたね。

プーケットでの生活は何もかもが初体験で、全てが新鮮でした。

文化的なものなのか、警察が賄賂を請求してくるし、バイクはノーヘルで行動を逆走しているし、明らかに小学生の無免許の女の子がバイクに乗ってたりもしましたね。

物価も日本の3分の1ですから、贅沢三昧でしょっちゅう豪遊していました。



後輩指導。実は少し緊張しています。



庭の椰子の実は、プールで冷やします。

プーケット中を遊び尽くして、現地の女の子をナンパして自宅のプールでみんなで泳ぎ回る位には生活に慣れた頃、上田さんもプーケットに到着。南国大学のメンバーも気付けば10人程になっていました。

まさに十人十色の言葉通り、集まったメンバーは様々でした。ネットビジネス経験者が半分、完全な初心者がもう半分くらいでしたかね。殆どが僕と同じように学生でしたが、務めていた会社を辞めて来た人や、元モデルの女性もいましたね。

生活の基盤が整っていない人も、ネットビジネスに取り組みながら、空いた時間で南国大学の運営を手伝ってお金をもらう制度もあったので十分に南国生活を満喫していました。

上田さん自身がビジネス指導をしてくれる他、ネットビジネスで活躍している普段は話もできないような先生方を定期的に招待してくれたり、今思えばネットビジネスを学ぶには最高の環境でしたね。

当時僕はまだ20歳で最年少でしたが、僕が最初のメンバーでリーダーという立場です。新しい人が増えれば生活の仕方から、現地の文化やビジネスの基本などを教えなければいけません。

最初は不慣れなこともあり、煩わしさも感じていましたが、人に教えれば自分も学びを深められますから、この時期から僕の収入もどんどんと増えて行きました。

6ヶ月の滞在期間が終わって帰国する頃には、100万円近くの収入になっていたと思います。

日本に帰国してからも定期的にプーケットには遊びに行きました。その度にみんなの成長が目に見えて驚いていましたね。



上田さん到着初日。午前2時なのにみんなとプールで遊びました。

南国の仲間たち

全員紹介すると書ききれないので、何名か南国のメンバーを紹介させて下さい。許可を取っていないので一応名前は伏せますが、みんな今でも連絡を取り合うし、たまに僕のチャンネルにも出てくれるメンバーもいます。

僕が帰国した後、後任のリーダーを務めてくれたK君。

南国のメンバーはみんな若いので（僕もですが）、一言で言えばみんな子供なのですが、彼は大人でしたね。プーケットで初めて会った瞬間から明らかにオーラが違いました。

ビジネス面でも才能の塊で、彼が編み出した稼ぎ方は、みんなが真似していました。僕が教えることも特になかったですね。むしろ僕が教わったことの方が多いかもしれません。

今では現地で結婚して2児の父親です。タイでいくつも事業を立ち上げて、当時僕が住んでいた豪邸を超える超豪邸に住んでいます。新居には、コロナが落ち着いたら直ぐに突撃する予定です。

そして、僕と同じようにアプリビジネスを通じて上田さんと元々面識があったS君。

彼は、僕と同時期にプーケットに来ていたので、プーケット時代からよくアプリビジネスの話題で盛り上がっていました。

プーケット来た時点で僕が20～30万円位稼いでいて、彼が10万円に届かない位だったと思いますが、日々ビジネスの話題で盛り上がる中で、色んなアイデアが浮かんだりして、僕も彼もどんどん売上が伸びていましたね。

最初出会った時は10万円だった売上もいつの間にか100万円を超えて、アプリだけなら彼の方が売上は大きいはずです。

たまに会って話をしますが、彼から学ぶことはとても多いです。当時は共に生活する仲間みたいな存在でしたが、今は一緒に切磋琢磨できるライバルに近いような存在になりました。

次に紹介するのは、H君。

最初の1ヶ月程は、居るのか居ないのかわからないほど存在感の無い人でした。用事がなければ、本当に誰とも会話をしませんでしたね。

元々人とあまり関わらないタイプの性格ということもあるのだと思いますが、プーケットの生活は集団生活ですから、嫌でも絶対に人と関わる必要があります。

海外ですから逃げ場ありません。強制的な集団生活。そんな生活をしていく中で、少しずつ周りのメンバーとも話そうようになって、僕が帰国する頃には南国大学では欠かせないメンバーの1人になりました。

彼もまだプーケットにいて、フリーランスとして日本から仕事を受けてたりもしています。上田さんからたまに仕事の依頼などが入るみたいです。

人付き合いのストレスからネットビジネスを選ぶという人もいます。

1人でも出来るというのはネットビジネスの大きな魅力です。個人的な考えを言うと、少し損をしているなと感じてしまいます。

独学、独力には限界があるし、仮に限界が無いとしても、仲間と手分けして取り組んだ方が効率がいいこともあります。

また、損得勘定抜きに情報交換が出来る関係なども、人と付き合うことで得られる大きなメリットです。

もしあなたが今、1人でビジネスをしているなら、仲間と呼べるようなパートナーを見つけて見て下さい。オンラインの関係でもいいと思います。

待っているだけでは見つかりません。まずは探すところから。僕もそういう巡り合わせの場を提供できるようにがんばります。



道端で拾ったオールとH君



こちらは隣の家が飼っていた猿

最後に女性も1人だけ。

元モデルのSさんは、モデル業が一生続けられる仕事ではないということから、他の仕事の選択肢としてネットビジネスを学んでみようということで参加していました。

普段はキャピキャピしていましたが、面倒見が良い性格の人で、男性メンバーの寮母的存在になっていました。上田さんが酔い潰れた時などは大体Sさんが介抱する係でしたね（笑

彼女が来て割とすぐに僕が帰国してしまったのですが、定期的に来てくれる先生方の話に積極的に耳を傾けていたのを覚えています。

彼女も帰国後に、プーケットでの人脈を活かしてビジネス展開をしています。

さて、まだまだ紹介したい仲間が沢山いるのですが、長くなってしまうので、この位にしておきます。

コロナのせいで、プーケットで生活しているメンバーとは、今は中々会えませんが、日本にいるメンバーとは定期的に遊んだりイベントがあればみんなで参加して盛り上がっていますよ。



人生で一番充実した6ヶ月

僕がプーケットに実際に住んでいたのはたったの6ヶ月でしたが、本当に多くのことを学び、経験することができました。

本当にまるで10年くらい住んでいたんじゃないかと思うくらいに、人生で一番充実した6ヶ月間でした。

人生で一番遊び、人生で一番ビジネスに集中して、リーダーとして20人以上のメンバーを仕切って、失敗ももちろんありました。

でも、そこから得たものはそれ以上です。

収入面では、将来の土台となる収入の柱。今後のネットビジネスを中心に生きていくのに十分な土台を構築できました。

また、初対面の人に、生活の仕方から仕事のやり方まで全部教えていましたから、指導力は格段に上がりました。

仲間と取り組むことで全員の収益が底上げされるという体験もここ以外では得られない貴重な体験だったと思っています。

何よりも、心の底から仲間と呼べるようなメンバーに出会えたこと、それ自体が大きな財産です。

この6ヶ月で得たもの、このどれが欠けても次章以降のどのビジネスも形になっていなかったと思います。



プーケットの仲間たち。本当に色々なことがありました。



仮想通貨

初めての1000万円

大学に入学して直ぐにカナダへの留学、その後は無理矢理大学を休学して、プーケットへのビジネス留学。

そんな生活だったので、大学生活を1年過ぎた時点で、僕はほとんど大学に行かないどころか、日本にもあまり居ない位の生活でした。

楽しくも忙しかったプーケットから帰国した僕は、少しはのんびりしながら大学生としての日常を過ごそうかと思っていたのも束の間、とんでもない時代が訪れます。

仮想通貨時代の幕開けです。

億り人なんていう言葉も流行りましたし、記憶に新しい方もいるかもしれませんね。当時大きく稼いだという人も少なくはないでしょう。

ただ、僕は仮想通貨投資という意味ではそこまで稼げたわけではありません。僕が仮想通貨で大儲けしたのは、仮想通貨の関連ビジネスです。

当時、仮想通貨そのものだけではなく、関連ビジネスも軒並み高騰していたんですね。

具体的に言うと、取引所の口座開設のアフィリエイトや会員登録などが一件あたり1万円以上したり、時には数万円になるものもありました。

自腹で広告費を払って宣伝して、取引所の口座開設に誘導するだけでも100万円単位の利益になりました。

当時上田さんが出版事業を立ち上げていたので、仮想通貨雑誌の出版で一部協力させてもらっていたのですが、そこでも数百万円の売上になりました。

当時から個人事業主としてビジネス展開はしていましたが、誰かと一緒に事業展開するということにはなかったので、この時初めて請求書のやり取りなどをしましたね。扱う金額が数百万円だったので、何度も金額を見直したのを覚えています。

僕の売上が初めて1000万円を超えたのもこの頃です。

流れには乗っておこう

10年足らずではあるものの、長年ビジネスに取り組んできて、ビジネスにも「流れ」があるのを何度も見てきました。

突発的に大きく稼げるビジネスがふと登場するんですよね。年に一回あるかないか位の頻度だと思います。

当時は仮想通貨、本書を書いている時点で比較的それに近いのはひろゆき氏などの「切り抜き動画」などもそれに当たるでしょうか。

ライフワークになるような長く続くようなビジネスではないかもしれませんが、単発的にでも大きく稼げるビジネスチャンスが適度な頻度で生まれるんですよね。

せっかくネットビジネスという自由なスタイルで仕事をしているのだから、こういうチャンスを見つけたら僕は積極的に参加するようにしています。

僕はどんなビジネスも、超長い目で見れば水モノだと思っています。10年、20年先を見た時に確実に残り続けるビジネスなんて一握りでしょう。

これは別にネットビジネスに限った話ではありません。今を例に取るのはズルいかもしれませんが、2020年、2021年と現存する殆どの企業が赤字決算でしょう。そうではなくとも毎年多くの企業が倒産して無くなっているわけです。

どんなビジネスもいつか無くなるのであれば、1つに固執せずに、稼げるビジネスはなるべく全部やった方がいいというのが僕の考えですね。

特にネットビジネスの場合、掛けた労力の何倍にもなって返ってくるものもあります。そういう情報は僕も積極的に発信していくので、面倒臭がらずに是非挑戦してみてください。

流れに乗る事。これはビジネス以外でも大事な考えですね。

The image features a close-up, slightly blurred view of a smartphone screen. The central focus is the YouTube logo, which consists of a red rounded rectangle with a white play button icon in the center. The logo is set against a dark background with a fine, repeating dot pattern. Overlaid on the logo is the word "YOUTUBER" in a white, serif, all-caps font. Below the logo, the word "YouTube" is visible in a smaller, white, sans-serif font, appearing to be part of the phone's interface. Other blurred app icons are visible in the background, including one with a purple-to-white gradient and another with an orange-to-white gradient.

YOUTUBER

ラッキーサイン誕生

仮想通貨もぼちぼち落ち着いた頃、ようやく僕の生活も落ち着きました。大学に入ってから実に丸々5年以上、ずっとバタバタしていましたかね。

バタバタした甲斐があって経済的にはかなり余裕があったので、なにか新しいことをしようと考えて始めたのが、ラッキーサインとしてのYouTuber活動です。

実は少し前からチャンネル自体は作っていたのですが、そこまで力を入れているワケではなかったんですよ。

怒涛の生活が一段落したのをきっかけに本格的に活動することにしたのがこの頃です。

チャンネルのテーマは、みなさんも御存知の通り「お金稼ぎ」に完全にフォーカスした内容になっています。

実はこの「お金稼ぎ」というジャンルはYouTuberとしては茨の道なんですよ。

かつての情報商材の高騰をみればわかるように、稼ぐ系の

ジャンルは客単価も高いのでライバルが多く、お金に余裕のある企業や組織がかなり力を入れて取り組んでいます。

宣伝費や編集予算なども多いでしょうから、ひしめくライバルの中で、素人が挑戦するにはハードルが高いジャンルなんですよね。

元々知名度のあるタレントやインフルエンサーの人がやるならまだしも、ちょっとネットビジネスで結果を出しているだけのただの大学生ですから、厳しい道程になるのは予想できていました。

でも、自分自身が一番興味があって自分自身の経験を活かせるジャンルとなるとやっぱりこれしか無いと考えて、テーマはお金稼ぎで行くことにしたんですよ。

結果としては、予想を遥かに上回る茨の道でした...

3年近くチャンネル運営をしています、広告費で明確に黒字になったのは2021年に入ってから。ついこの間の話です。

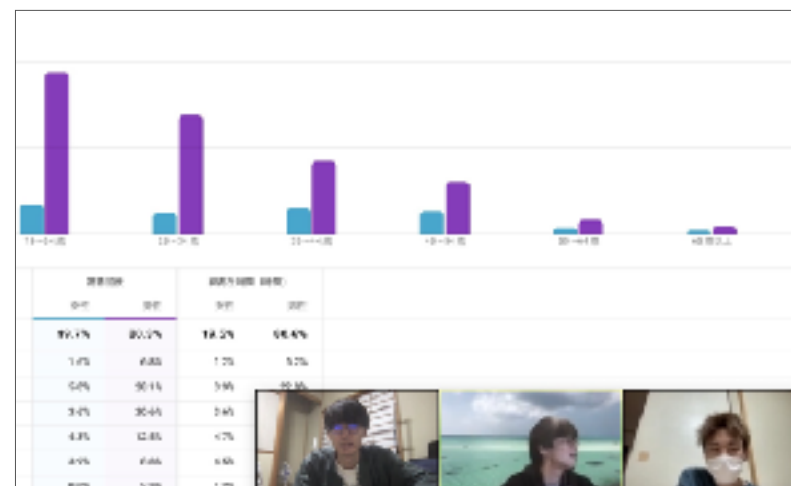
活動開始から2年位かかりましたね。

試行錯誤の繰り返しの2年間でした。色んな人に相談に乗ってもらったり、視聴データを見ながらZoom会議なんていうこともやっていました。自分に取り組んでいるビジネスで会議らしい会議をやったのは今の所これが最初で最後です（笑

茨の道と分かっていたとは言え、興味もあり経験もある得意分野で結果が出せない時期は悔しかったですね。苦労しながらも2年続けられたのは、この悔しさがバネになっていたからだと思います。

僕のチャンネルはビジネス系のカテゴリの割には若い人からの登録が多いので、少し内容を緩くしてエンタメ風な演出などの調整をいれるような工夫を意識しています。

苦労しただけあって、最初の目標にしていたチャンネル登録者1万人に到達した時は本当に嬉しかったですね。



YouTube企画会議の様子



念願のチャンネル登録1万人

夢は大きく、意識は低く

さて、ラッキーマインのチャンネルは先述した通り「お金稼ぎ」をテーマにして、真面目な話というよりは、肩をの力を抜いて見られるようなエンタメ要素も入れた内容にしました。

意識低い系起業家みたいな肩書も使っていましたが、ネットビジネスなんて緩い気持ちで、片手間でやるべきものだという物であるという主張を込めています。

僕はネットビジネスというのは、副業の延長にあると思っています。副業ですから片手間で出来るべきだし、人生を掛けるほどリスクを背負うようなものでは無いはずです。

もしネットビジネスが、朝から晩までパソコンに向かわないと駄目とか、何か1つ手違いがあれば生活が破綻してしまうようなビジネスだったら、僕はもうネットビジネスを辞めています。

動機は不純かもしれませんが、誰でも出来そうで、楽して稼げそうだから僕はネットビジネスを始めました。

口にはしなくとも、大なり小なりそんな気持ちを誰しも持っているのではないのでしょうか？

楽して稼げるという表現は誤解を招くかもしれませんが、少なくとも同じ金額を稼ぐなら普通に働くよりはネットビジネスの方が絶対に楽だと思います。

もっと言えば、僕が今自分で稼いでいるような金額を、他の手段で稼ごうと思ったら、過労死するレベルで働くか、何年も猛勉強して大企業に何年も勤めて出世するか、もしくは犯罪に近いことをしないと無理だと思っています。

いくつかある選択肢の中で、ネットビジネスが一番現実的でしかも緩そうだから僕はネットビジネスを選びました。

「夢は大きく、意識は低く」

考え方は人それぞれですが、本書をお読みの貴方ならもしかしたら共感してくれているかもしれませんね。



ビジネスコンサル

個別コンサル

本格的にチャンネル運営をして半年ほど経った頃だったと思います。視聴者の方からビジネスを教えてほしいという連絡をもらうようになりました。

当時は意識していませんでしたが、興味があればビジネス指導もしますよ的な発言を動画内でしていたんですね。無意識に話していたので、具体的な価格も内容も何も考えていませんでした。

相場観も何もわからないので、上田さんに相談して「自分の月収の3割位にしたら？」という意見を参考に、50万円という価格に決めました。期間は1年。電話やメール・LINEでのサポートの他、月一回僕が出向いてその人の家で直接指導するという内容です。

価格だけ見ればかなり高額ですから、お客さんに断られることも想定していましたが、結果として連絡をくれた人の殆どが申し込んでくれましたね。

自分で言うのも何ですが、価格以上のサービス内容だったと思っています。月約4万円でビジネスフルサポートですから、よく考えるとこれは申込み得でしたね。

月に1～2人申し込みがあったので、ピーク時は同時に10人ほどコンサルをしていました。

ある程度手が離れるまでは、結構付きっきりでサポートする必要があるので、自分の時間はほとんど無くなっていました。

その分確かに目先のお金は貰えるのですが、自分自身のビジネスが伸び悩みますね。

自分がビジネスを教えたコンサル生の収益が伸びるのは、快感だったし、やり甲斐も感じていましたが、自分も成長していきたいという葛藤も常に抱えていました。

悩んだ結果このコンサルプランは受付終了にしました。今でも問い合わせはありますが、それとなくお断りしています。

誤解を恐れずに言えば、僕の時間を１年切り売りして５０万円という価格では割りに合っていませんでした。

同時に１０人を教えるのが限界だと月にせいぜい１つしか販売できません。月収にすると５０万円ですね。もちろん安い金額ではありませんが、これなら自分でビジネス展開をした方が稼げます。

別に人に教えるのが嫌になったというわけではありません。

当時、コンサルで謳っていた内容として「１年以内に月収１０万円にさせる」ということを言っていたが、１０名以上いたコンサル生のうち、把握できているだけでも１０名はこの目標を達成しています。

途中連絡が取れなくなった人もいましたが、期間内に目標に達していない人でも、その後の収益につながるような土台は残せましたし、特にクレームもありませんでした。

母数は１０人と少ないですが、その中で１００万円以上稼いだ人たちもいますし、ビジネスコンサルとしては十分な結果が出せたと思っています。

最初は先生と呼ばれることにも違和感を感じるほどでしたが、お金を貰って仕事としてビジネスを教えることに僕自身が慣れたのはこの経験がきっかけになっていますね。

このコンサルを通じて、安部夢都生という個人に、少なくとも５０万円以上の価値を感じてくれた人が居たということが認識できましたし、素直に嬉しく思いました。

結果として受付終了したとは言え、やらなければよかったとは思っていません。

僕にそれだけの価値を感じてくれた皆様には本当に感謝しています。

一応、という言い方も変ですが、このコンサルは内容をコンパクトにして、価格も抑えて募集はしています。

期間も人数も限定しているのでここでは紹介しません。興味がある方は、YouTubeなどで見つけたら確認してみてくださいね。

A man with glasses and a black t-shirt is sitting on a floor covered with cardboard boxes and shipping materials. He is smiling and looking towards the camera. In the background, there is a white dome structure, possibly a shipping container or a storage unit. The floor is cluttered with various items, including boxes, bags, and shipping labels. The text "シェアハウスの運営" is overlaid on the image.

シェアハウスの 運営

稼がせる環境を提供

個別コンサルと同時期に始めたのが、ビジネスシェアハウスの運営です。これも多くの方がご存知かもしれませんね。

プーケットでの生活を経験して、僕が心に決めていたことの1つがこのシェアハウスの運営だったんですよね。

ネットビジネスというマイナーなジャンルに取り組む人たちが同じ空間で意見を交換しながらビジネスが出来る南国大学という学び舎は、僕にとってはとても貴重で刺激を受ける事ができた最高の環境でした。

そんな環境を、いつか自分も提供する側に回れたら最高だなと思っていたんですね。

とは言っても、元々はかなり先のビジョンで、例えば僕が貯蓄や不労所得だけで一生遊んで暮らせる程稼いだ後、娯楽の延長でやってみようという位の気持ちでしたが、割と早く運営することになりました。

きっかけは前章で話したコンサル中の生徒との会話。

何気なく「シェアハウスがあったら来る？」みたいな話題を振ったら、みんな前向きな回答だったので、将来の予定をかなり前倒しして運営することにしました。

これもまたすんなり形になることもなく、結構大変でした。

物件探しから始めますから、実際に運営するまでには何ヶ月も掛かりましたし、ちょっとしたトラブルもあって、最初契約していた物件は追い出されてしまったので、実は今の物件は2軒目の物件だったりします（汗

ちょうど先日契約更新をしたので、2年と数ヶ月運営していることになりますね。

これまでに10名以上の方がこのシェアハウスに入居してきました。

中には単純に住むだけの利用で入居していた人もいましたが、大半は生活の中でネットビジネスを学ぶという目的で来ています。

一応全員個室付きの一軒家ではありますが、プール付きの豪邸というわけではないので、住心地はそれぞれのようです。

共同生活に耐えられないという人もやっぱりいました。また、よほど度胸がないと女性の方は大変でしょうね。

逆に居心地が良すぎて、もう2年丸々住んでいる人もいます。ちなみにその人は月収100万円以上稼いでいるので、出ていっても不自由は無いと思うのですが、住み慣れすぎて居心地がいいんでしょうね。

僕としても、気心の知れた人がずっと居てくれるのは色々と任せられるので助かっています。

さて、一部の人を除けば、基本的にシェアハウスのメンバーはネットビジネス以外の仕事をしていません。

それでも、贅沢三昧ということではありませんが、みんな最低限人並みの生活は出来ています。

シェアハウスの運営にあたって、最初は不安もかなりありました。入居するにあたって、家賃は払ってもらう契約ではありますが、その人が稼げなければ家賃は払えないわけです。

もちろん、契約上支払う義務が発生しますが、お金が無ければ払えないわけですから、請求もし辛いですね。

いくらネットビジネスとは言え、取り組んだ初日から何万円も稼げるということもありません。仮に最初からうまくいったとしても、振り込まれるのは翌月とかになるわけです。

ほとんどの方がその期間を見越して貯金などをした上で入居してくれるので大体大丈夫なのですが、中には貯金どころかほとんど手ぶらで来るような人もいます。

語弊があるかもしれませんが、そういう人に限って、やっぱり上手く稼げなかったりします。これまでに最長で15ヶ月分の家賃を滞納した人がいました。

(払われないのが当たり前みたいな感覚になっていて、請求しなかった僕も悪いので、純粹に滞納というのとは少し違うかもしれません)

そんな彼もちゃんと、稼いだお金で家賃を払うようになりました。もちろん、滞納した分も全額支払い済みです。

中にはここでは言えないような、問題を起こして夜逃げ同然で出ていった挙げ句に、さらには共有資産を盗んでいたような酷い人もいましたが、それ以外は概ね良好でした。

嬉しい誤算

手探りで始めたシェアハウス運営。何の問題も無く、とは言えないまでも、それなりに上手く運営できているかなと思います。

シェアハウスの運営だけみれば利益は微々たるものです。もしかしたら赤字かもしれません。ただ、事務所代わりや物置き代わりに使ったり、YouTubeの撮影スタジオとして利用したり私的利用もしているので、十分メリットがあります。

一番のメリットだと感じているのは、ビジネス仲間がシェアハウスを訪れてくれることです。プーケットで共に過ごした仲間や、上田さんを含む、一緒にビジネスをした人たちが、定期的にシェアハウスに来てくれます。

宿泊設備はありますから、時間を気にせずじっくり打ち合わせをして、一段落すればお酒でも飲みながら雑談をしたり。その何気ない会話の中から、新しいビジネスのアイデアが浮かんだりもします。

さらにそれも落ち着いたら、みんなでゲームで盛り上がって大体いつもパーティーみたいになります。

社会人に出れば、気軽に人の家に遊びに行くというような機会はぐっと減ると思います。ましてや何の用もないのに突然訪れるなんてことは殆どありませんよね。

やっぱり親しい友人とは言え、人のプライベート空間に気軽に立ち入るのも立ち入られるのも抵抗があったりするでしょう。

でも不思議なことに、僕のシェアハウスには、みんな気兼ねなく遊びに来てくれます。1階部分を共有スペースにしたのが良かったのかもしれませんね。

みんなで楽しい時間を過ごしつつ、仕事の話も盛り上がるという思いがけないところで最高の環境が手に入りました。これは嬉しい誤算でしたね。

なったら

事してるの

がんばって!

べるのん

の革命者になりそう+
人! 本当に実行力が
憧れるし自分も官の
べるのん みたいな
〜も〜いいね!

べるのん
べるのんは超えて、自分の未来の
の未来を。本当にがんばるなど
いつも感じてる。べるのんは
かならず成功する人になるよ!
もう一歩前進するよ。
本当にがんばるべるのん。
がんばれ! 応援してるよ。
ようこそ!

べるのん
おめでとう! 人生の
失はった方でも
けいいていきます(笑)
なんがあっても
楽しく

べるのん
企業系の機転が
きいて尊敬する!

べるのん
べるのんは超えて、自分の未来の
の未来を。本当にがんばるなど
いつも感じてる。べるのんは
かならず成功する人になるよ!
もう一歩前進するよ。
本当にがんばるべるのん。
がんばれ! 応援してるよ。
ようこそ!

べるのん
人が普通やめたい
ようは事してる。
本当そんなにする。
優しい!
いろんな話したい!

起業している
を遅刻して見たので
関係しました、
一部、何者だ?
知るべるのん

次の舞台へ

べるのん
おめでとう! 人生の
失はった方でも
けいいていきます(笑)
なんがあっても
楽しく

べるのん
企業系の機転が
きいて尊敬する!

べるのんは同じ学年で同じ
なのにめっちゃめっちゃ年上に見
もう社会人だよ(笑) 売れるた
めっちゃ行動しおんが、さんて
マナーとかでっけりさせると
のはすごい!! しかもそれを
生活の中でやるなんて(笑)
おんが尊敬もん!!
就活できなかったら頼るわ

あつもん
本当に私、あなたのこと尊敬し
10回の自己紹介からいんば
ずいにおぼえて、あ、この人は
でもすごいイケメンだ! って
そして果の上で、起業とかって
山こうどうして、いろんなこと
って尊敬するところ三山ある
4年になって就活で困ったと
相談するが話さいてね? 1
本当にありがとう!

今度は伝える側に

本章の見出しの背景画像は、大学の講義の一環で僕のこれまでのネットビジネスに関する取り組みを発表した時にももらったみんなからの感想のメッセージです。

大勢が僕の活動に共感、賛同してくれました。僕の話聞いてネットビジネスを始めた人たちもいます。大半は卒業と同時に就職してしまいましたが、今でも取り組んでいて、僕一緒に仕事をするようになった人もいます。

僕は、ネットビジネスで稼げるようになって人生が変わりました。

大げさな表現に聞こえるかもしれませんが、僕の周り的人でネットで稼いだ人たちはみんな同じことを言っていますから、僕だけが特別に大げさということも無いと思っています。

そして、今度は同じ経験を、いつか貴方にもしてもらいたいと思っています。

上田さんとの出会いやプーケットの生活の中で、ビジネスを学ぶ側も経験してきたし、コンサルやシェアハウスを通じて、教える側も経験してきました。

もちろん、自分自身でもビジネスに取り組んで、いわゆる普通の生活を送っていたら絶対に手にすることができない収入を手になっています。

ネットビジネスという舞台を通じて、僕が得てきたもの、伝えられたものを今度は僕があなたに伝えていきたいと思います。

もちろん最初はお金を稼ぐところからですが、お金の稼ぎ方だけではなく、何か1つでも多くのことをあなたに伝えられたら嬉しいです。

そして、もし僕から得たものがあつたなら、是非今度はあなたがそれを次の人に伝えてください！

さいごに



人生最高の経験を

長くなりましたが、僕がパソコン一つで生きてきた内容をお話させていただきます。

順風満帆というよりは、波乱万丈という表現の方が近いと思うような10年間。

大きな回り道もして、少なからず失敗もしてきましたが、これまでの成功や失敗、すべての経験が今の僕の土台になっています。

出会いにも恵まれて、この10年で多くのものを得ることができました。

どんなビジネスでも、きちんと取り組みれば何だかんだで利益が生まれること。

仲間と取り組むことで得られる相乗効果も実感できました。的確なアドバイスをくれる師匠にも出会えたし、人にビジネスを教える喜びも経験できました。

プーケットでの非現実的な日常からは、高級外車を乗り回したり、タワーマンションに住んだりするような世俗的な贅沢ではなく、人生を豊かにする本当の意味での贅沢を学べたと思っています。

これら全てを、僕はネットビジネスという舞台を通じて体験してきました。

場所や時間に縛られる、会社員生活では決して得られないことのない経験だと思っています。

以前よりは多少マシになったとは言え、ネットビジネスに対する世間の風当たりが強いのは僕自身感じていますが、僕がこれまで経験してきたことは、どれをとっても人生最高の経験と言えるし、ネットビジネスじゃなければ実現できなかったことです。

皆さんがネットビジネスに求めていることは、人それぞれでしょう。

楽しんで稼ぎたいと思って始める方もいると思います。それもひとつの原動力です。僕自身も最初の動機はそんな感じです。

大金を稼いで、タワーマンションで贅沢三昧したいという人もいるでしょう。それももちろんOKです。

ネットビジネスで稼いだ結果、何をするか。それは個人の自由です。

どんな形でも構いませんから、「ネットビジネスで人生最高の経験ができた」と言えるような体験をしてみてください。

僕はこれまでも、これからもパソコン一つでずっと生きていくはずです。何か助言できることもあると思います。気軽に僕を頼ったりもしてみてください。

それではまた。



安部夢都生（あべむつき）

1995年長野県に生まれる。高校生の頃からビジネスに興味を持ち、大学1年当時ネットビジネスの売上が30万円を超えたのをきっかけに起業。

幅広くネットビジネスに取り組む他、ビジネス系YouTubeチャンネル、ビジネスコンサルタント、セミナー講師など幅広く活動。

プーケットでのビジネス留学の経験を活かしたビジネスシェアハウスも運営中。2021年からは本格的にビジネス指導者としても活動開始。

A man with dark hair, wearing a black t-shirt with a cat graphic and light-colored pants, is sitting on a wooden chair on a porch. He is barefoot and looking towards the camera. The porch is part of a modern house with white walls and a large wooden door. To the right, there is a swimming pool with a blue tiled edge, and some tropical plants are visible in the background.

さいごまでお読みいただき
ありがとうございました

パソコン1つで生きてきた

あべむつき